

第7回地下街と駅周辺地域活性化分科会記録

日 時 平成21年10月19日(月) 19:10~20:30

場 所 小田原箱根商工会議所 4階 会員談話室

経 過

【まちづくり会社の事業について】

- ・まちづくり会社が行う事業について、事前に参加者が考えてきた意見について意見交換を行った。
- ・大きく分けて、コミュニティバスの運行に関する事業、商店街振興及び再開発に関する事業、地下街に関する事業、受託事業、その他(少数意見)である。
- ・行政でも民間でも出来ないような事業をやっていききたい。
- ・事業領域は中心市街地に限定したほうが良い。
- ・自立できる事業を行っていききたい。自立出来ないと逆に潰されてしまう。
- ・あれもこれも出来ないのでは、道しるべとして出た意見をもとに検討していききたい。

【まちづくり会社の組織について】

- ・まちづくり会社の検討材料として、中心市街地として担うもの、事業の優先順位、組織づくり・組織形態、人材の確保等について、大方のフレームを作るのが次のステップである。
- ・どんな組織にするか?どんな方向性に持って行くか?
- ・組織のトップとしてどんな人がふさわしいか、実行部隊としてこんな人がいてくれたら良い...というような、イメージを固めていききたい。
- ・資金面の確保も検討しなければならないが、まずは事業計画を策定しないと支援者から理解が得られないと思う。
- ・他のまちづくり会社の役員構成(代表者)や組織体制はどうなっているか、どうゆう人材が必要かなどが分かると良い。

【まとめ】

- ・中心市街地のエリアから外れない。
- ・ギャンブル性がある事業はやめる。
- ・自立出来る組織を作る。
- ・(出た意見の中から)事業の優先順位をつける事について、まずは組織を作らないと決まらないので、現状では難しいと思う。

◎松本マネージャーより

- ・まちづくり会社の役割、必要性
- ・事業項目の抽出
- ・中心的な事業(事業の柱)
- ・実現するための組織
- ・適正人材の確保
- ・運営計画(資金計画、ステークホルダー、資金提供)

- ・この勉強会ではエッセンス（方向性）を出すところまでいければ良い。
- ・A分科会と合体して中心市街地活性化の軸が出来てくれれば良い。
- ・他のまちづくり会社の組織体制や役員構成などについて、次回までに事務局で調査することになった。
- ・次回は11月10日（火）。

以上

<当日出席者> *順不同・敬称略

古川達高、佐藤慎一、石田一夫、中戸川洋、豊住武志、古川孝昭